



熊本市 感染症発生動向調査 速報

●インフルエンザが注意報レベルを超えました●

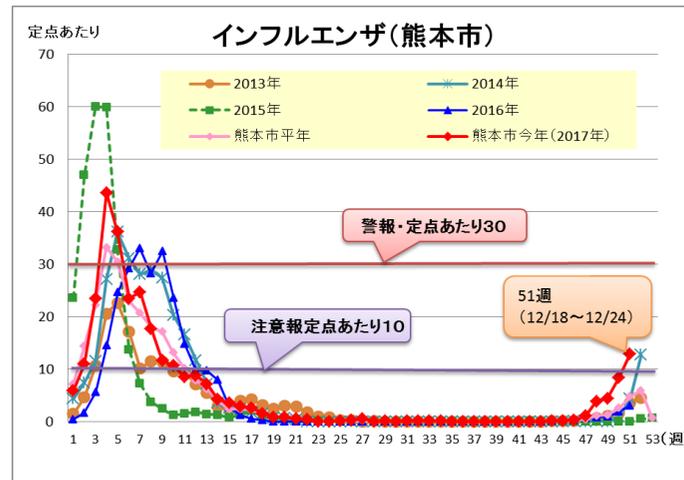
感染症発生動向調査で、平成29年 第51週(12月18日～12月24日)の熊本市の定点医療機関あたりの報告数が、12.96(定点数25ヶ所、患者報告数324人)となり、国が注意報レベルの基準値としている10を超えました。熊本市が注意報レベルを超えるのは、昨年より3週早く、一昨年より5週早くなっています。感染予防に努めましょう。

◆インフルエンザにかかったかな?と思ったら

- ① 早めに医療機関を受診しましょう。(症状が出てから概ね48時間以上経過すると、ウイルスが増えすぎて薬が効かなくなる場合がありますので注意しましょう。)
- ② 咳のあるときは、マスクを着用しましょう。特に、医療機関を受診する際は、他の患者への感染防止のため必ずマスクを着用しましょう。
- ③ 人混みや繁華街への外出を控え、無理をして学校や職場等に行かないようにしましょう。
- ④ 水分を十分に補給しましょう。お茶でもジュースでも飲みたいもので結構です。

◆学校、幼稚園、社会福祉施設関係者の皆様へ

- ① 日頃から、幼児、児童生徒、入所者の発熱等の健康観察を行い、有症状者に対しては、早期受診を勧めましょう。
- ② 施設内にウイルスを持ち込まないよう対策をとりましょう。
 - ・教職員・施設職員は、日頃から自身の健康管理に努め、自身が感染源にならないようにしましょう。
 - ・施設においては、面会者についてインフルエンザ様症状の有無をチェックするなど注意喚起をしましょう。
- ③ 普段からこまめな手洗い、手指消毒、咳エチケットを心がけ、人が頻繁に触る部分はこまめに拭くなど、施設内の衛生管理を徹底しましょう。



| 期 間 | | 平成29年 50週 | | 平成29年 51週 | |
|------------------|-----------|-------------|------|-----------------|-------|
| | | 12/11～12/17 | | 12/18～12/24(最新) | |
| 疾患名 | 疾患の増減 | 報告数 | 定点当り | 報告数 | 定点当り |
| インフルエンザ | ↑ (注意報!!) | 212 | 8.48 | 324 | 12.96 |
| RSウイルス感染症 | ↑ | 4 | 0.25 | 7 | 0.44 |
| 咽頭結膜熱(プール熱) | ↑ | 19 | 1.19 | 11 | 0.69 |
| A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | ↑ | 26 | 1.63 | 22 | 1.38 |
| 感染性胃腸炎 | ↓ (注意!!) | 118 | 7.38 | 94 | 5.88 |
| 水痘(みずぼうそう) | ↑ | 13 | 0.81 | 11 | 0.69 |
| 手足口病 | ↑ | 26 | 1.63 | 21 | 1.31 |
| 伝染性紅斑(りんご病) | → | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 |
| 突発性発しん | ↑ | 15 | 0.94 | 10 | 0.63 |
| 百日咳 | → | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 |
| ヘルパンギーナ | → | 1 | 0.06 | 2 | 0.13 |
| 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ) | ↑ | 0 | 0.00 | 2 | 0.13 |
| 急性出血性結膜炎 | → | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 |
| 流行性角結膜炎(はやり目) | → | 7 | 1.40 | 8 | 1.60 |
| 細菌性髄膜炎 | → | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 |
| 無菌性髄膜炎 | → | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 |
| マイコプラズマ肺炎 | ↑ | 2 | 0.40 | 0 | 0.00 |
| クラミジア肺炎(オウム病を除く) | → | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 |
| 感染性胃腸炎(ロタウイルス) | → | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 |